

# 令和5年度第1回春日井市図書館協議会議事録

1 開催日時 令和5年7月25日（火）午後2時から

2 開催場所 春日井市役所6階 研修室

3 出席者 [委員]

春日井市小中学校校長会 佐藤 幸子

春日井市小中学校校長会 北原 千穂

図書館ボランティア 水谷 琴美

図書館ボランティア 藤野 啓子

婦人会協議会 横井 広美

小中学校PTA連絡協議会 高橋 純

中部大学 高木 秀明

中部大学 澤田 裕之

[事務局]

教育長 水田 博和

文化スポーツ部長 大橋 弘明

図書館長 四ツ倉 光一

サービス・啓発担当主査 石原 圭一朗

資料担当主査 高木 俊成

資料担当主任 服部 立宏

4 議題

(1) 令和4年度図書館事業報告について

(2) 令和5年度図書館事業計画について

(3) 第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について

(4) その他

5 会議資料

資料1 令和4年度図書館事業報告について

資料2 令和5年度図書館事業計画について

資料3 第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について

参考資料1 春日井市図書館条例（図書館協議会関係抜粋）

その他1 令和5年度春日井市図書館協議会委員名簿

その他2 座席表

## 6 議事内容

議事に先立ち、会長に佐藤幸子委員及び副会長に高木委員を選出した。

### (1) 令和4年度図書館事業報告について

【事務局石原】 会議資料1に基づき説明した。

【高木委員】 資料1の3ページ(9)読書感想文書き方教室、4ページ(12)中学生向け読書講座（10代の未来さがし講座）、(13)図書館読み聞かせボランティア養成講座、4の(4)音訳技術講習会（初級編）の各講師の紹介をしてほしい。

【事務局石原】 読書感想文書き方教室の間瀬講師は、以前小学校で国語の教師をされていた方である。中学生向け読書講座（10代の未来さがし講座）の澤田講師は、中部大学現代教育学部准教授で、これまで4回講師を引き受けていただいている。図書館読み聞かせボランティア養成講座の樫木講師は、豊田中央図書館読書指導者で、これまで2回講師を引き受けていただいている。音訳技術講習会（初級編）の梶田講師は、社会福祉法人名古屋ライトハウス情報文化センターに所属し、音訳ボランティアにも参加していただいている。

【横井委員】 資料1の7ページの利用状況の推移について、令和4年度の登録人数26,218人、貸出人数396,294人の意味合いを教えてください。

【事務局石原】 登録人数については、春日井市の利用者カードを持っている方で、令和4年度に利用された方の人数になる。貸出人数について、登録人数が令和4年度に図書館を利用した回数の合計数になっている。

【高木委員】 令和4年度の市民1人当たりの蔵書数2.55についてどのように評価されているのか。

【事務局四ツ倉】 市民1人当たりの蔵書数について自治体の人口規模と蔵書規模に比例するものになる。人口が少ないところは多くなり、人口が多いところは少なくなる傾向がある。その観点からすると春日井市は平均だと思われる。

【高木委員】 以前調べたことがあるが、春日井市は平均的であった。令和4年度の除籍数と受入数は同じような数量である。令和3年度より除籍数は増加しているが何か理由があるか。また、除籍の基準はあるか。

【事務局高木】 令和4年度の除籍数は、複数の図書室で作業スペース等を確保するため、多くの本を除籍したことにより増加

した。また、令和3年度受入数は、グリーンパレス春日井図書室のリニューアルに伴い、児童書を中心に新しく本を購入したため、令和4年度と比べて多くなっている。

除籍の基準は、担当者が本の状態を確認し、簡易な破れ等の修理可能な物は修理している。水濡れ、よごれ・破れ等が広範囲で修理不可能な物は除籍している。

(2) 令和5年度図書館事業計画について

【事務局石原】 会議資料2に基づき説明した。

【澤田委員】 資料2の2ページ(9)の小中学生向けの講座を今年度も11月に実施予定であり、これで5回目になる。講座に参加する小中学生はもともと本が好きであり、本を読むことから遠ざかっている子は、講座に参加してくれない。本嫌いな子が背中を押されて参加するものだと思っていたが、実際そうではなかった。本嫌いな子に近づけるようなことをしたい。

【事務局四ツ倉】 図書館としても永遠の課題だと思う。小さい頃からの読み聞かせや子ども司書養成講座をとおして、本を好きになってもらうように努めたい。また、学校や家庭でも本に興味を持ってもらい、本を読む力を付けることを地道に続けていくしかないと考えている。今年の春に、子どもが読み聞かせを皆の前で行うイベントを行ったが、小学低学年の子が多く参加してくれた。こういうイベントをとおして、本や図書館に興味を持ってもらうようにしていきたい。

【横井委員】 以前、豊橋市まちなか図書館の職員も同じことを話していた。「豊橋市の美術館で恐竜展を行った際、恐竜展に行った子が本に興味を持つように、図書館で恐竜の漫画等を置いたコーナーを作った」という事例を参考にしたい。

【事務局四ツ倉】 今年の3月に文化フォーラムで開催された、ねずみくんのチョッキ展と連携して、図書館に、ねずみくんのチョッキの絵本を展示した特設コーナーを設置するとともに、交流アトリウムで絵本の読み聞かせ会を行った。今後も色々なタイアップをしていきたい。

【高木委員】 ティーンズのコーナーの充実も大事だと思う。東京都の葛飾区の図書館は、コーナーが一室設けられていて専任のスタッフもいる。手間ではあるが、ティーンズ向け

に魅力あるコーナーを設けるのも特色だと思う。

【佐藤委員】 今後も人々が集まるような魅力的な図書館になっていったらいいと思う。

【高木委員】 中部大学と春日井市図書館は相互利用の連携をしている。学外利用者は、令和5年7月時点で一般利用者が112人で、市内の在住者が74人いる。相互利用の方は、中部大学から春日井市図書館に本の貸出をされた方が3人、春日井市から中部大学への依頼が7人。多いときには年間で中部大学から14人、春日井市から12人あった。専門書のニーズがあるので、市民の方には今後ぜひ利用して欲しい。

【事務局四ツ倉】 利用者には、図書館に所蔵がない本でも、中には少し待てば他の図書館をとおして借りることができる本もあると周知していきたい。

【高木委員】 夏休み中に高校生に勉強できる場所も提供しているので、この場でお伝えさせていただく。

(3) 第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について

【事務局石原】 会議資料3に基づき説明した。

【高木委員】 資料3の7ページの施策4(17)中学生・高校生の意見聴取でどのような意見があったのか。また、どういったスタッフがこの取組に関わってニーズを汲み取っているのか。

【事務局石原】 私自身が30代であり、本を整えているスタッフも30代から60代までで30代未満はいない。一つ良い方向に進んだのが、市内の高校の生徒からお勧めの本を定期刊行物で紹介することを今年度から始めた。今後、他校の生徒からの紹介も掲載できたらと考えている。

【高木委員】 高校生のサークルを作ってアイデアを募るのはどうか。大学図書館では図書館サポーターと一緒に本を紹介している。学生にとっても今後のために役立つと思う。今すぐではないが、検討していただきたい。

【藤野委員】 夏休み中に、たくさんの中학생や高校生が図書館で勉強しているが、本も借りているのか。

【事務局石原】 自習室の利用には申請が必要ないので、利用している中高生がどのような行動をしているのかは追跡できない。

【藤野委員】 夏休み中に中高生の利用が増えたという実績はないか。

- 【事務局四ツ倉】 テスト前や期間中に、多くの中高生が利用する傾向がある。ただし、中には本を読んでいる子もいる。
- 【藤野委員】 図書館に来ているときにティーンズ向けのPRをして、1冊でも借りてもらえれば良いと思う。
- 【高木委員】 資料3の4ページ(9)「授業等での読書の活用の団体貸出の気づいたこと・工夫したこと」で、児童の学習にタブレットが導入されてから、貸出依頼が減ったように感じているということであるが、委員の中に学校の先生がいらっしゃるのでは体感を伺いたい。
- 【北原委員】 調べ学習ではタブレットが大変便利である。小さい子は文を読むのが難しいので、低学年の子は図鑑を好む。タブレットの使用により貸出が若干減っているのは感じる。
- 【高木委員】 学校ではWi-Fiが使用できるのか。
- 【北原委員】 使用できる。ただ、タブレットが全てではない。選択肢の一つである。図書館で借りてきてもよいし、教科書や資料集を使ってもよいと指導している。
- 【高木委員】 ChatGPTなど上手く使うことで効果的になる。
- 【北原委員】 最近ガイドラインが出た。小学生は使用できず、中学生も保護者の同意書や教員の指導のもとでないと使用できない。教員も研修を受けた上で、学校長の許可がないと使用できない。

午後3時15分に協議会を終了した。

上記のとおり、令和5年度第1回図書館協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席者1人が署名する。

令和5年11月16日

議長 佐藤 幸子  
署名人 藤野 啓子